

平成16年度決算版 “さっぽろのおサイフ”を公表

生活に必要な
お金
312万円

市では、毎年、予算の使い方や財産などを公表して、皆さんが納めた税金がどのように使われているかをお知らせしています。今回は、家計に例えた財政状況のほか、平成16年度決算の概要などを公表します。

【詳細】 総務資金課 ☎211-2216 ホームページ「札幌市の財政」
<HPアドレス> www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo

家族で働いて
得た収入より、
生活に必要なお金が
112万円も
多いんだ!

そうなんです。
家計簿上収支はありますが、
親からの仕送り
(国から交付される補助金など)
などが給料より多く、
借金(市債)もしないと、生活できません。
さらに、年間500万円の家計に例えると、
収入を上回る732万円もの
大きな借金も残っているんです。

上田市長

予算・決算って何?

予算

1年間にどれだけのお金が入り(歳入)、どれだけのお金を使う(歳出)かを示す「計画書」です。予算は議会の議決を経て成立します。

決算

1年間の実際のお金の動きと仕事の内容をまとめた「実績書」に当たります。

市のおサイフ(会計)は3つ!

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計。

特別会計

国民健康保険、介護保険など、一般会計と分けて設置する特定の事業に関する会計。

企業会計

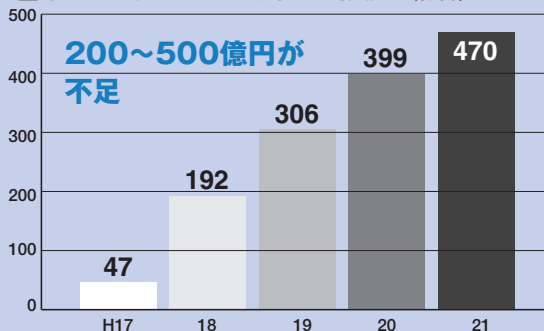
地下鉄、水道など、民間企業と同様に、利用料金など事業収益で運営している会計。

厳しい札幌の財政状況

2 今後の見通しは?

今後4年間の中期的な財政状況を試算すると、市税や地方交付税などの収入が17年度と同額程度確保できるとした場合でも、18年度から21年度の各年度において200億~500億円程度の財源不足が予想されています。

■中期財政見通し~財源不足の推移 (億円)



1 札幌市の財政の現状は?

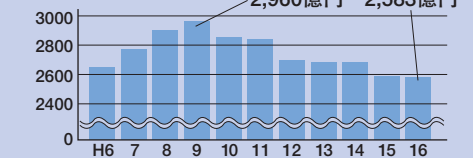
1 景気の急速な回復は望めないため、主な収入源である「市税」の伸びは見込めない。

2 国の「三位一体の改革」の影響により、地方交付税や国庫支出金など国から入ってくるお金の見通しは不透明。

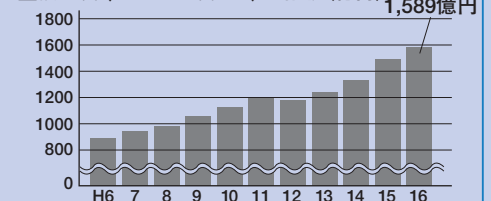
※地方交付税~各自治体の財政力不足に応じて国から交付されるお金

3 医療、介護、生活保護など福祉関係に掛かる費用が膨らんでいる。

■市税収入の推移(億円)



■扶助費(生活保護費など)の推移(億円)



収入は減っているのに、支出が増えるので、毎年財源が不足!

16年度決算でも、市税などの収入が伸び悩む一方、生活保護費など義務的な経費が増えており、財政状況が厳しくなっています。

札幌市の財政を家計に例えてみると・・・

家庭の収支と市の財政は、お金の使い道も規模も違うので、単純に比べることができませんが、市政運営の基本となる一般会計の16年度決算約8,000億円を、年間500万円の家計に例えてみました。



家族で
働いて得た収入
200万円

3 どうやって乗り切っていくの?

収支不足を解消し、安定した財政構造への転換を図るため、16年12月に「財政構造改革プラン」を策定しました。市役所の内部努力とともに、サービス水準や受益者負担の見直しなどを行う一方、市税の収入率の向上や、事業の見直しなどを行い、収入と支出の両面から、収支不足の解消に取り組んでいます。

変えなきゃ!
お金の使い方、集め方

財政構造 改革 プラン

市役所自らが努力して節約

[主な取り組み]

- ・施設保守経費や光熱費などを減らします
- ・組織体系を見直し、職員の人数を減らします

公共事業や臨時の事業は 計画に沿って重点化

[主な取り組み]

- ・公共事業を段階的に減らします
- ・施設の建て替え時期を見直したり、再利用したりします

サービスの水準や、 利用者の負担を見直し

[主な取り組み]

- ・民間にできることは民間主導のサービスへ移行します
- ・敬老優待乗車証、すこやか検診など利用者負担を見直します

財源確保のため、 市有地などの財産を 有効に活用

[主な取り組み]

- ・使う見込みのない市有地を、積極的に売却します

経済の活性化などにより、 財政基盤を強化

[主な取り組み]

- ・市内の産業を育成し、税源の確保に努めます
- ・税金や国民健康保険料などの収入率を向上させます

一般会計

- 歳入から歳出を引いた収支は37億600万円と黒字になりました。
- 歳入については、市税が新築家屋の増による固定資産税の増加と個人市民税の減により前年度とほぼ同額になりました。
- 歳出については、生活保護費や児童扶養手当支給費の増により保健福祉費が、市債の元金償還の増により公債費が、増加しました。

資料編

数字でみる “さっぽろのおサイフ”

※各項目ごとに数値を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

区分	決算額	対前年度 伸び率(%)	主な内容	
歳入	市税	2,582億5,500万円	-0.0	市民税、固定資産税、都市計画税など
	国庫支出金	1,348億200万円	6.8	国から地方公共団体に対して支出される負担金・補助金・委託金
	諸収入	1,225億3,100万円	5.4	預金利子、貸付金元利収入、受託事業収入など、ほかの収入科目に含まれない収入
	地方交付税	1,124億6,300万円	-2.8	各地方公共団体の財政力の不足に応じた国からの交付金
	市債	729億2,700万円	-20.6	市の借入金
	その他	1,056億7,900万円	3.1	地方消費税交付金、使用料、手数料、道支出金など
	合計	8,066億5,700万円	-0.5	
歳出	保健福祉費	1,933億7,700万円	4.9	福祉、保健、医療などの経費 例)生活保護費、医療助成費、児童扶養手当支給費など
	諸支出金	1,239億4,700万円	-4.4	財産取得のための経費や他会計への繰出金 例)財産取得費、国民健康保険会計・下水道事業会計等への繰出金など
	土木費	1,064億円	-4.8	道路や公園の整備など、都市の基幹的な社会資本の整備のための経費 例)道路新設改良費、河川整備費、公園整備費、市営住宅建設費など
	職員費	1,054億4,900万円	-3.4	職員の給与や諸手当のための経費 例)給料及び職員手当等、退職手当など
	公債費	999億8,400万円	4.0	市債の償還などのための経費 例)公債元金、公債利子など
	経済費	797億1,900万円	-0.5	地域経済や観光、農業の振興などのための経費 例)中小企業金融対策資金等貸付金など
	教育費	376億1,000万円	-1.9	学校教育や生涯学習などのための経費 例)小中学校建設費、図書館運営費など
	環境費	161億8,200万円	17.4	環境保全、ごみ処理などのための経費 例)ごみ処理費、環境保全対策費、厚別清掃工場解体費など
	その他	402億8,400万円	-1.3	議会費、総務費、労働費、消防費
	合計	8,029億5,100万円	-0.1	

企業会計

企業会計全体では、長引く景気低迷の影響などから収入が伸び悩みましたが、企業債の支払利息の減少や経費節減などにより、昨年度に比べて収支が約43億円改善しました。また、水道事業で口座振替日の任意選択を導入したり、地下鉄事業で割引乗車券ドニチカキップを通年で商品化したりするなど、市民サービスの向上に努めました。

区分	収益的収支			未処分利益剰余金 (-未処理欠損金)	累積資金残高
	収入	支出	差引		
市立札幌病院	204億5,600万円	212億6,200万円	-8億600万円	-146億1,300万円	23億2,000万円
中央卸売市場	20億9,600万円	34億9,900万円	-14億300万円	9億1,500万円	54億2,600万円
路面電車	28億1,400万円	27億200万円	1億1,200万円	2億2,700万円	4億7,200万円
地下鉄	481億8,000万円	549億5,800万円	-67億7,800万円	-3,402億2,800万円	-26億1,200万円
水道	456億7,300万円	441億800万円	15億6,500万円	15億5,100万円	88億3,300万円
下水道	466億4,500万円	461億9,100万円	4億5,400万円	-241億1,700万円	60億7,200万円
合計	1,658億6,300万円	1,727億1,900万円	-68億5,600万円	-3,762億6,500万円	205億1,200万円

平成17年度予算 上半期執行状況 (平成17年9月末現在)

厳しい財政状況の中、人員の削減や事業の効率化などにより経費節減を図る一方、市長公約を早期に実現するため、「元氣ビジョン」に掲げる重点事業については積極的に予算に計上するなど、限られた財源の効率的な配分を行いました。

一般会計	区 分		予 算 額	執行率(%)
	入	市 税		2,597億円
国庫支出金			1,292億8,700万円	38.6
諸収入			1,278億400万円	7.8
地方交付税			1,098億円	74.9
その他			1,823億4,600万円	35.1
合 計			8,089億3,700万円	42.4
出	区 分		予 算 額	執行率(%)
	保健福祉費		2,035億9,400万円	45.9
	諸支出金		1,291億7,700万円	33.7
	職員費		1,052億9,500万円	44.3
	土木費		975億3,600万円	27.6
	その他		2,733億3,600万円	52.9
合 計		8,089億3,700万円	43.9	

特別会計	区 分	歳入歳出予算額	歳入執行率(%)	歳出執行率(%)
	国民健康保険	1,814億6,100万円	32.2	44.0
	老人医療	1,825億3,100万円	39.6	41.4
	介護保険	841億9,500万円	37.5	39.4
	その他	129億6,100万円	21.3	38.8
	合 計	4,611億4,800万円	35.8	42.0

企業会計	区 分		予 算 現 額	執行率(%)
	市立札幌病院	収益的	収入	206億9,500万円
支出			221億8,100万円	49.0
資本的		収入	15億5,400万円	38.9
		支出	21億3,000万円	42.6
中央卸売市場	収益的	収入	20億9,400万円	32.6
		支出	25億9,600万円	26.3
	資本的	収入	61億5,500万円	0.0
		支出	80億円	30.3
路面電車	収益的	収入	13億2,300万円	48.6
		支出	15億5,800万円	33.6
	資本的	収入	1億4,300万円	17.5
		支出	3億200万円	37.1
地下鉄	収益的	収入	494億7,500万円	49.9
		支出	524億4,700万円	29.8
	資本的	収入	434億7,700万円	25.1
		支出	609億4,800万円	36.8
水 道	収益的	収入	458億4,400万円	49.7
		支出	448億4,800万円	37.8
	資本的	収入	103億6,400万円	15.3
		支出	261億700万円	65.4
下水道	収益的	収入	448億5,300万円	51.5
		支出	461億8,700万円	29.7
	資本的	収入	273億8,700万円	10.7
		支出	425億3,100万円	64.1

※〈収益的収支〉企業の経営活動に伴い発生する収入と支出。収入=料金収入など。支出=営業費用、企業債償還費(利子)など。
 〈資本的収支〉企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良などにかかわる収入と支出。収入=企業債など。支出=建設改良費、企業債償還費(元金)など。

市債の残高・一時借入金	会 計	一 時 借 入 金	市 債
	一 般 会 計	0	1兆1,787億5,200万円
	特 別 会 計	0	67億5,000万円
	企 業 会 計	9億4,900万円	1兆370億9,400万円
	合 計	9億4,900万円	2兆2,225億9,600万円

16年度決算

特別会計

3つの特別会計で歳入不足が生じました。

国民健康保険会計

保険料収入の減などによる不足

老人医療会計

国庫負担金、道負担金の減による不足

公共用地先行取得会計

道路整備などにおける代替地を処分する間の収入不足

区 分	歳 入	歳 出	差引残額
土地区画整理	80億9,000万円	80億9,000万円	0
団地造成	1億5,500万円	1億5,500万円	0
駐車場	3億5,200万円	3億5,200万円	0
母子寡婦福祉資金貸付	2億7,800万円	2億2,700万円	5,100万円
国民健康保険	1,635億2,800万円	1,664億9,300万円	-29億6,500万円
老人医療	1,748億2,300万円	1,753億8,100万円	-5億5,800万円
介護保険	762億4,800万円	758億500万円	4億4,300万円
基 金	9億5,600万円	9億2,200万円	3,400万円
公共用地先行取得	5億9,400万円	19億1,300万円	-13億1,900万円
砂防用地先行取得	5億6,000万円	5億4,400万円	1,600万円
交通災害共済	1億7,300万円	8,600万円	8,700万円
公 債	3,851億3,300万円	3,851億3,300万円	0
合 計	8,108億9,000万円	8,151億100万円	-42億1,100万円

基金・一時借入金・財産

基金

現在高2,423億7,100万円 (平成16年度末現在)

※16年度決算で発生した剰余金の積立後の金額

財政調整基金142億1,100万円、土地開発基金709億5,700万円、減債基金1,235億8,800万円 など

一時借入金

平成16年度末現在、各会計ともなし

財産

(平成16年度末現在・主なもの)

■公有財産:

土地5,376万5,900平方メートル、建物556万4,000平方メートル、有価証券49億3,800万円、出資による権利53億2,100万円など

■物品(価格100万円以上のもの)4,137点・台

■債権(市から民間への貸付金など)86億3,700万円

市債残高

会 計	残 高
一般会計	1兆1,811億8,900万円
特別会計	72億5,800万円
企業会計	1兆648億7,800万円
合 計	2兆2,533億2,400万円

意見募集

自分の街がもっと住み良くなるように
 予算編成へのご意見を
 お寄せください

- 市では、現在、平成18年度の予算編成を進めています。1月下旬から、市長が各局からの予算要求を査定し、2月中旬に議会へ予算案を提出します。
- 「予算編成方針」および「各局予算要求方針」などの資料は、市役所11階財政課、市役所2階市政刊行物センター、区役所、まちづくりセンターのほか、財政部ホームページ(14番)でご覧になれます。
- 平成18年度予算編成に対するご意見・要望などを12月28日(水)までに、市コールセンター☎222-4894へお寄せください。ご意見は予算査定の際に参考とさせていただきます、反映結果と査定結果を合わせて公表する予定です。